

「マイナビ 2024年卒大学生 活動実態調査(5月)」を発表

AI技術など新しいテクノロジーが、就職観や志望先選択に影響した学生は15.3%
AIチャットサービス(ChatGPT等)の利用経験がある学生は約4割。就活での利用経験は18.4%

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：土屋芳明）は、2024年卒業予定の全国の大学生、大学院生を対象に実施した、「マイナビ 2024年卒大学生 活動実態調査(5月)」の結果を発表しました。

《TOPICS》

- ◆ 2024年卒業予定の大学生・大学院生の内々定率は70.2%で、前年比4.7pt増加【図1、2】
- ◆ AI技術などの登場が、就職観や志望先に影響した学生は15.3%。「AIではできない、対人ならではの仕事をしたい」や「企業を選ぶ際にITの活用やDX化に対応しているか意識した」などの意見も【図3、4】
- ◆ 生成系AIによるチャットサービスを利用した経験がある学生は約4割。就職活動で利用した経験がある学生は18.4%【図5】
- ◆ 生成系AIによるチャットサービスを就職活動において「使いたい」学生は34.8%、「使いたいと思わない」学生は37.8%と意見が分かれる結果に【図6、7】

【調査概要】

2024年卒業予定の大学生・大学院生の5月末時点での内々定率は前年比4.7pt増の70.2%で、平均内々定保有社数は前年比0.1社増の2.2社だった。4月同様、内々定率・平均内々定保有社数ともに高い水準で推移している。【図1、2】

先進的なAI技術などの新しいテクノロジーの登場によって、就職観や志望業種・志望職種・志望企業などの選択に影響があったか聞いたところ、最多は「影響を受けたことはない」の43.6%で、「影響を受けたことがある」は15.3%となった。影響を受けたと答えた学生からは「企業を選ぶ際にITの活用やDX化に対応しているか意識していた」や「AIではできない、対人ならではの仕事をしたいと考えたようになった」など、企業がテクノロジーの導入に積極的か、自分のしたい仕事がAIに置き換えられないかに焦点を当てた声も見られた。【図3、4】

「ChatGPT」などの生成系AIによるチャットサービスの利用経験で、最も多かったのは「使ったことはないがサービスのことは知っている」で48.2%、利用経験がある学生は39.2%で、就職活動で使ったことがある学生は18.4%だった。一部の学生の間ではAIチャットサービスの利用が広がっているようだ。【図5】

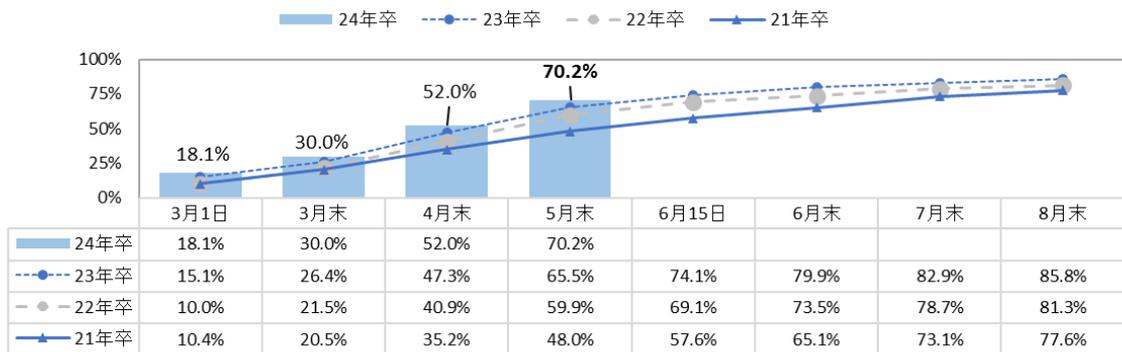
生成系AIによるチャットサービス(ChatGPT等)を就職活動で活用することについて「使いたい」は34.8%、「使いたいと思わない」は37.8%と同程度であり、学生の間でも考えにばらつきがあるようだ。「使いたい」という学生からは「文章の推敲や拡大(400文字から600文字にするなど)など、就職活動の補助的なものとして使いたい」、「面接で聞かれそうな設問を想定させている。自分では思いつかない角度からの質問は実際の面接でも役立つ」というような活用例が挙げられた。一方「使ってみてみたいと思わない」という学生からは「人と話すことで心が整理されたり癒されたりすることもある」や「自分らしさが表現できず、他の就活生との差別化ができない」という懸念の声が寄せられた。【図6、7】

【調査担当者コメント】

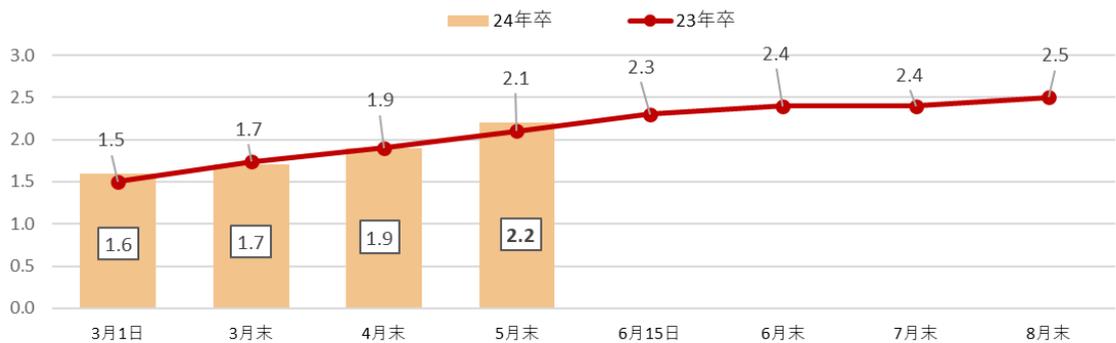
就職活動における生成系 AI によるチャットサービスの利用については、実際に利用したことがある学生は 18.4% で、利用したいと考えている学生が 3 割程度となりましたが、「使いたくない」とあるいは「わからない」という学生も同程度おり、学生の中でも意見が分かれているようです。学生の利用用途の中には、不正確な情報が含まれている可能性や個人情報漏洩の可能性などの注意が必要なものもありましたが、AI の得意・不得意を理解しあくまで補助的な用途で活用したい人が多いこともわかりました。利用に際しては AI の特性を理解しツールとしてうまく活用するためのリテラシーが重要だと考えられます。

キャリアリサーチラボ 研究員 長谷川洋介

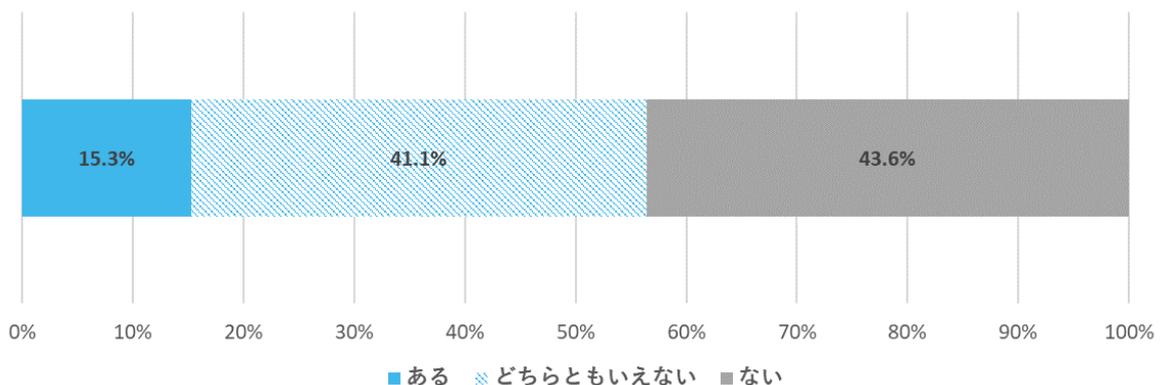
【図 1】内々定率 経年比較



【図 2】平均内々定保有社数 前年比較



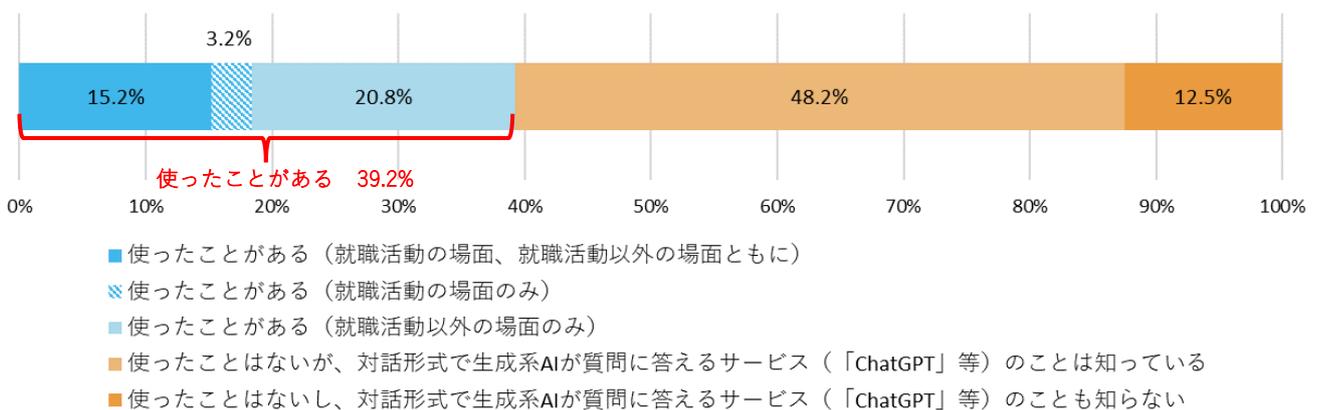
【図 3】先進的な AI 技術などの新しいテクノロジーの登場によって、就職観や志望業種・志望職種・志望企業などに影響を受けたことはあるか



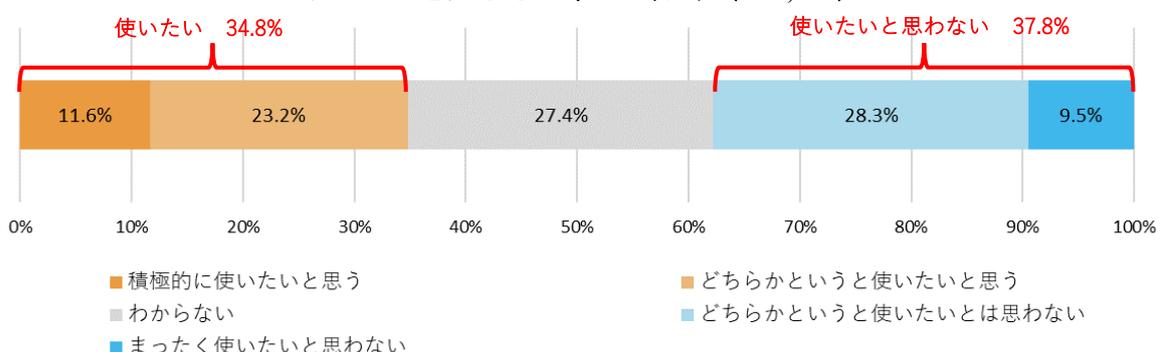
【図 4】 先進的な AI 技術などの新しいテクノロジーの登場によって、就職観や志望業種・志望職種・志望企業などに影響を受けたことが「ある」「ない」と答えた理由

影響	属性	内容
ある	理系男子	システムエンジニアを志望していたが、プログラミングスキルを社会が重視しなくなるのではないかと考えて志望度を下げた
	文系女子	AI技術の進歩により、事務など単純作業が人が行う必要が無くなる可能性があると感じ、事務職の採用は今後どんどん少なくなると考え、事務職採用で内々定を貰おうとするのは半ば諦めようという気持ちになった。そのため、他の職種の採用情報をよく見るようになった。
	文系男子	物流だと人手不足や24年問題でどんどんセンターの機械化が進むこともあり、募集人員の減少や将来のキャリアが描けないのではないかと感じ始めたから。
	文系女子	AIでできない、対人ならではの仕事をしたいと考えるようになった。
	文系女子	翻訳業を志望していたが、ChatGPTの出現で少し考え直し中である。
	文系女子	スーパーマーケット業界においてもAI技術を導入する企業が増え、それによって今まで人間の手で行ってきた日々の作業を機械に任せる時代がくるということをいくつかの企業の会社説明会で聞き、以来スーパーマーケット業に興味が高まりました。
	理系男子	企業を選ぶ際にITの活用やDXにどの程度対応しているかは意識していた。
	理系女子	AIに置き換わられない、エッセンシャルワーカーの仕事に興味を持つようになった。
影響	属性	内容
ない	文系女子	自分のやりたい仕事に応募するだけだから。それに取って代わる可能性があると思うのなら、自分にしかできないことを入社後に磨けば良いと考えるから。また、それを考えていると切りが無いと思ったから。
	文系女子	就職先に求める最も重要なことはその会社の社風であったため、AIなどの存在は加味しなかった。
	文系女子	就活を進めていく中で、技術の進歩よりもまだ人材不足のほうが切実な課題であるように感じ、特に技術の進歩によって自分のみている職が失われることに対する危機感はまだ感じなかったから。
	文系男子	営業職であるため対人の接客が必要不可欠であり、AIに代替されづらいと考えたため。
	理系女子	ATMができたときに銀行員はもういなくなると言われていたそうだが、現在も縮小するどころか増えている。何が縮小されて何が生まれるかなんてわからないものだから、自分がやりたいことをやろうと考えているので影響はなかった。
	文系女子	志望していたホテル業界では滞在されるお客様に対してリラックスできるような対面での接客を基本としており、機械に関してはSDGsの取り組みや宿泊予約等へ導入しているので、影響はないと感じました。

【図 5】 対話形式で生成系 AI が質問に答えるサービス（「ChatGPT」等）の利用経験



【図 6】 生成系 AI によるチャットサービス（ChatGPT 等）を就職活動で活用することについての考え ※サービスを知らない学生は除外 (n=4,580)



【図7】生成系 AI によるチャットサービスを就職活動において、
使いたい理由や場面、使いたくない理由

属性	使いたい場面	内容
文系男子	エントリーシート	ES添削の場面において使いたい。人に添削してもらうのは日中しかできないが、AIを使えば24時間いつでも添削してもらえ、添削待ちの時間を削減できるため。
理系女子	エントリーシート	文章の推敲や拡大(400文字から600文字にするなど)など、就職活動の補助的なものとして使いたい。
文系女子	エントリーシート	志望動機などを自分でまとめられない時に、ChatGPTに箇条書きで自分で志望理由を書いてまとめてもらうことに利用したい。まとめてもらったものを参考にすることで、効率化を図ることが出来ると思う。
文系女子	面接	ガクチ力や自己PRに対するの深堀質問や、添削に使用してみたいと考えます。
文系女子	面接	企業の情報と自身のエントリーシート記入内容を読み込ませ、面接で聞かれそうな設問を想定させている。自分では思いつかない角度からの質問は実際の面接でも役立った。
文系女子	面接	面接の逆質問を考える際や競合他社との比較の場面で使ってみたいです。自分で調べるよりも効率的に情報を得られると思うからです。
文系女子	その他	自己PRなどの推敲など他人に頼むしかない事柄で活用している。相手の時間を取らなくて済むので心情的に楽
理系男子	その他	企業に送るメールなどに利用したい。 1から自分で考えていると時間がかかるため、特に早く伝えたいことがある場面で助かると思う。
属性	内容	
理系女子	AIによる分析も手段の一つであると思うが、やはり人と話すことで心が整理されたり癒されたりすることもあり、また、人と話す練習が面接にも活かされると考えたためメインとして使いたいとは思えなかった。	
文系女子	一度就職活動で自分で調べる方法以外に情報を入力したいと思いましたが、その情報が間違っており確実に信用はできないため。自分で調べて情報収集するのが一番確実だと思った。	
文系女子	まだセキュリティ面で不安であること、チャットサービスを使ったことが企業側バレたときに不利にならないか不安であるため。	
文系男子	エントリーシートを下書きしている際にChatGPTを用いて文章の作成に試みたことがある。いくつかのキーワードと条件を与えて生成したところ、案外筋の通ったものが出来上がった。しかし、完璧に自分の伝えたいことがその文章に反映されているかと言えばそうではない。論理的な文章の構成は参考になるが、自分の頭で考え、自分の手でキーボードを打ち込む方が結果的には効率的であるとする。現時点ではChatGPTは参考程度に用いるのが自分の中ではベストな使い方であるとする。	
文系女子	自分らしさが表現できず、他の就活生との差別化ができないと考えるから。	
理系男子	自分のことや考えたことを自分の言葉で述べるのが大事なので、あくまでAIのような第三者が考えたものをそのままパクるのは、他の就職活動者との違いが出てこないおそれがあるから。	
理系男子	たしかにChatGPT等のAIサービスを使うことで履歴書作成や面接対策をより効率的に進めることができるようになります。しかしながら、生成系AIは、あくまでAIであるため自分の経験や考えを完全に反映できるというわけではなく、オリジナリティに欠けてしまうというデメリットが予想されます。このことから、生成系AIを選考に使用することで、どの企業でも当てはまるような「ありきたりな履歴書」ばかりが作られてしまうのではないかと、私を私は懸念しています。ですから、生成系AIを使うのであれば、選考に関わらないような場面で使った方が無難なのではないかと思えます。	

【調査概要】「マイナビ 2024 年卒大学生 活動実態調査 (5 月)」

- 調査期間／2023年5月25日(木)～5月31日(水)
- 調査方法／マイナビ2024の会員に対するWEBアンケート
- 調査対象／2024年3月卒業見込みの全国の大学生、大学院生
- 調査機関／自社調べ
- 有効回答数／5,062名(文系男子1,038名 文系女子2,071名 理系男子1,009名 理系女子944名)
- ※調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が100%にならない場合があります。

※調査結果の詳細は会社HPのニュースリリース (<https://www.mynavi.jp/news/>) からご確認いただけます。

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社マイナビ
キャリアリサーチラボ 研究員 長谷川
Email : myrm@mynavi.jp

【当社に関するお問い合わせ先】
株式会社マイナビ
社長室 広報部 松田
Email : koho@mynavi.jp